

# TDU Agora



## TDU の国際交流

～キャンパス内の国際交流と大学間交流～ ..... 1

### CONTENTS

|  |   |                                     |    |
|--|---|-------------------------------------|----|
| 今月の顔 細田真妃子准教授 (理工学部理学系) .....                  | 3 | 学び探求 未来科学部イブニングセミナー (未来科学部建築学科) ... | 7  |
| キラリ★電大生 東京千住キャンパス 空手道部 .....                   | 4 | 中学校・高等学校 .....                      | 8  |
| 働く電大人 田村信一さん (昭和44年工学部電気通信工学科卒業) ...           | 5 | TOPICS .....                        | 9  |
| TDU LABO マルチメディア教育工学研究室<br>(システムデザイン工学部) ..... | 6 | キャンパスよもやま情報 .....                   | 10 |
| 「電大ガールズ」D-girls .....                          | 6 | News .....                          | 11 |
|  |   | Information .....                   | 15 |



# TDUの国際交流

～キャンパス内の国際交流と大学間交流～

国際センター

東京電機大学は、日本語教育振興協会が主催する日本語教育研究大会において、2017年「日本留学AWARDS」に選ばれ、今年で6年連続の入賞となりました。日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先として評価をいただき、今後も引き続き「日本留学AWARDS」で入賞できるようさまざまな活動を通して、国際交流を推進してまいります。

そこで最近のトピックスとして、キャンパス内の国際交流や海外協定校との繋がりについてご紹介します。



## キャンパス内の国際交流

### シドニー大学デモレッスン

10月4日に東京千住キャンパスにて、海外協定校のシドニー大学講師による、グローバル・イングリッシュの体験レッスンを開催しました。昼休みの時間にもかかわらず24名の学生が参加しました。

レッスンは参加体験型学習で、参加者の名前を覚えるicebreaking gameで緊張がほぐれ、初対面の学生同士が臆することなく英語でコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度がみられました。また、参加者の英語力を把握した軽妙な授業で、終始学生の笑顔が絶えませんでした。



レッスンを受ける学生

### 外国人留学生による各国の文化&料理紹介 ～タイ王国編～

10月19日に埼玉鳩山キャンパスにて、本学理工学部外国人留学生と日本人学生、教職員との親睦を深めるため、また異文化に慣れ親しんでもらうことを目的として「タイ留学生による文化&料理紹介」を開催しました。理工学部では2011年から数えて7か国10回目の文化・料理紹介となります。学内外から50名の参加者があり、食文化交流を通して異文化を知ってもらい良いきっかけとなりました。

準備段階からタイ人の学生だけではなく、他国籍の留学生、日本人学生とも共同で作業を進めながら交流を深める姿が見られました。日本語ボランティアの学生、東武東上線北坂戸駅前にある大学と地域の活性化を目的とした施設「北坂戸にぎわいサロン」利用者の方、東松山市国際交流協会からの参加もあり、国際交流に興味のある方々から好評を得ることができました。



多くの方が参加

## 大学間の交流(ドイツ イルメナウ工科大学・台湾 中原大学)

### イルメナウ工科大学(ドイツ)との学術交流で大臣も来校

10月2日、東京千住キャンパスにドイツのチューリンゲン州経済・科学・デジタルソサイエティ大臣など関係者14名が来校されました。本学からは安田学長をはじめ12名の大学関係者でお迎えし、学術交流に関する覚書締結およびキャンパスツアーを実施しました。

ドイツの大学との初めての学術交流に関する覚書締結となり、キャンパスツアーでは連結式縦型蓄熱槽やものづくりセンターの最新設備に触れ、感動されたご様子でした。今後も、益々本学の国際交流の幅が広がることが期待されます。



安田学長による歓迎の挨拶

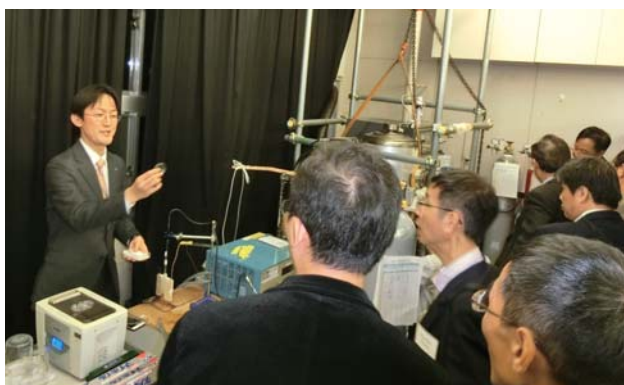


ものづくりセンターを見学

### 中原大学(台湾)ジョイントフォーラム

11月10日に埼玉鳩山キャンパスにて、海外協定校である台湾の中原大学とのジョイントフォーラムを開催しました。中原大学からは9名の先生と大学院生が本学を訪れ、研究室訪問と研究発表を行いました。研究室訪問では、電子・機械工学系の太越康晴准教授と矢口俊之准教授の研究室を訪問しました。

また研究発表では、本学と中原大学の教員と大学院生が発表を行い、活発な意見交換がなされました。



太越准教授の研究室訪問



中原大学大学院生による研究発表

国際センターでは、東京電機大学の特色を活かした国際交流の実践に向けて、学生や教職員の人的な交流を進めるために、留学生の日常的な相談相手や日本人学生の海外留学の支援、海外の大学との交流等さまざまな活動を行っています。

各キャンパスに設置している国際センターラウンジでは、常駐するスタッフに留学や大学生活についての相談ができ、留学生と日本人学生が交流できるスペースもありますので、是非ご利用ください。

今後も留学生に選ばれる大学であり続けるとともに、留学生との交流、また学生が海外で学ぶことについても積極的に推進していきますので、ご期待ください。

# 身の回りのものはたいてい流体である ～液体を扱う最新技術の開発～



理工学部 理学系  
細田 真妃子 准教授

## ソフトマテリアルとの出会いと 装置開発

今でも卒研配属の日をはっきりと覚えています。40名近くいた同期のそれぞれの思惑に胸やけを起こしながら、一番すんなり決まりそうな研究室に手を上げました。拘束時間の長い実験系は敬遠されます。私の卒論テーマは、液体表面に伝搬する表面張力波を光散乱という手法を用いて検出し、分子レベルで液体物性を調べようというものでした。それほど前向きでもなく、緊張感に欠けていた私は、年末の一番緊迫する時期に数十万円は下らないというロックインアンプを再起不能にし、相棒との関係を危機的状況に陥らせました。なんとそれから四半世紀、恐ろしいものです。今では「もっと根性入れて実験しろ」などと学生を叱咤する立場になりました。

それを始まりとして、表面張力から内部の熱擾乱、超音波をあててみたりと手法は少しずつ変化をしているものの、ずっと液体・流体・ソフトマテリアルの物性測定に携わっています。具体的にはマイクロメートルほどの微粒子が液体中に分散しているコロイドと呼ばれるものや、洗剤の材料でよく知られている界面活性剤の媒質中での会合状態の協同運動などです。新しい物性を知るためには装置も作ります。その中でここ数年「粘性測定」に取り組んでいます。

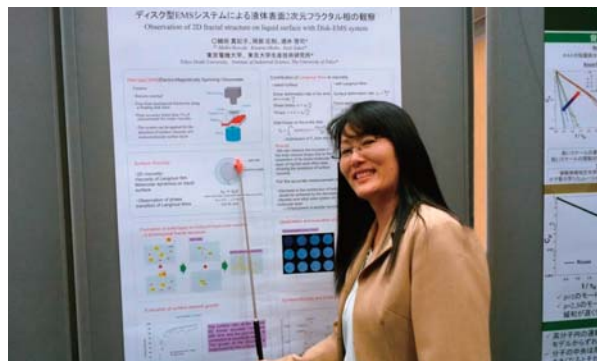


測定する研究室の学生

## 粘性測定を通じて 人類の未来を晴れやかに

粘性測定は液体物性のスタンダードといっても過言ではないと思います。およそ100年にわたり、液体の粘性測定は発展を続けてきました。今までも精確に測定できる測定装置はありましたが、その精確なデータを得るためには液体の量がたくさん必要であったり、測定に時間がかかったりするのです。そこで私たちの研究グループは、液体の量は1ml、測定時間は数秒で完了できる装置の開発を進めてきました。

これには理由があります。将来、血液やさまざまな生体物質の測定を可能にすることが目標なのです。涙や唾液、毎日採取できる血液の量は限度があります。時間がかかれば劣化もしてしまいます。その制約の中で精確なデータを得ることが私たちのゴールなのです。測定プローブを遠隔操作し、使い捨てにするなど、斬新なシステムの構築が今年度の「先端分析技術賞:JAIMA 機器開発賞」につながりました。これからもずっと将来に役立つような研究に励みたいと思います。



第65回レオロジー討論会でのポスター発表(10月)

### 細田 真妃子 准教授 プロフィール (理工学部理学系)

Profile

- 2000年 3月 東京大学大学院工学系研究科  
物理工学専攻博士課程修了 博士(工学)
- 2000年 4月 東京大学生産技術研究所 研究機関研究員
- 2001年 4月 東京農工大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー  
非常勤研究員
- 2002年 4月 東京大学生産技術研究所 学術研究支援員  
日本女子大学 非常勤助手  
日本女子大学附属高等学校 非常勤講師(物理)
- 2003年 4月 東京電機大学フロンティア共同研究センター  
嘱託助手
- 2007年 4月 東京電機大学理工学部共通教育群 講師
- 2015年 10月 東京電機大学理工学部理学系 准教授



OBの先輩方からも激励

東京千住キャンパス 空手道部

## 卒業までに黒帯を目指して

主将

福森 匠(未来科学部 建築学科3年)



形の稽古

空手道部は14名の部員で活動しています(4年生7名、3年生2名、2年生2名、1年生3名)。ほとんどが大学から空手道を始めた初心者ではありますが、卒業までに黒帯を目指し、部員が少ないからこそ他の部員を意識し、切磋琢磨しながら頑張っています。

練習時間は基本的に週に3回で、水曜日と木曜日は17時～19時、土曜日は15時～17時で活動しています。3号館1階の武道場にて稽古を行っており、土曜日にはOBやOGの先輩方を招いています。また学期に数回、金曜日に空手道協会目白支部にて師範の稽古を受けています。春と夏の長期休暇には強化合宿を行っており、この強化合宿の際に昇級審査を受けています。年に1回少林寺拳法部と合気道部を交え、他の武道を知るために合同稽古も開催しています。

普段は突きや蹴り、移動稽古を中心とした基本稽古を重点的に行い、形や組手の稽古にも力を入れています。大会前には出場する種目を重点的に稽古します。近年の空手道部は部活存続が危ぶまれましたが、OBやOGの先輩方や顧問の先生、学校関係者の

方、他の部活動の方々などさまざまな人のおかげで、春季関東学生会定期リーグ戦(有級組手)では準優勝という輝かしい成績を収めることができました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

毎年世代交代で部員は変わりますが、各世代の空手道に対する情熱は先輩方から受け継いで日々精進しています。未熟な私たちですが、これからも応援をよろしくお願いいたします。



黒帯を目指して

## データ放送の普及や緊急地震速報の高速化を導入 ～第55回電気通信協会賞、第62回前島密賞を受賞～



元日本テレビ放送網株式会社  
取締役専務執行役員

**田村 信一さん**

昭和44年工学部電気通信工学科卒業

昭和30年代後半は我が国の電子産業が躍進した時代で、私は迷うことなく将来のエレクトロニクス・エンジニアを夢見て工業高校電子科に進みました。3年になりこのまま社会に出る事に一抹の不安を覚え、担任からの勧めもあり遅ればせながら7月になって進学を決意し、それから7か月間の受験勉強の末、東京電機大学に入学しました。

高校時代に真面目な学生だった私は、大学2年次からの専門科目はほとんど苦勞する事無く単位が取れたため、“真面目”は1年半で返上する事となります。そして3年春に、工業実習の企業選びに出遅れて就職課の前をウロウロしていたところ、部屋から出て来た担当者から「是非ここへ実習に行ってくれないか？」と勧められたのが日本テレビです。送信部という関東エリアの放送電波を管理する部署に配属され、3週間の実習経験をしたのが私と日本テレビの出会いです。無事実習も終了し、提出したリポートが気に入られたのがきっかけで、就職試験を受けてすんなり内定してしまいました。

入社時は中継を希望したのですが、実習当時の上司の強い引きで送信部に配属される事になります。そして送信部と回線運用部など地味な現場で25年、この間に全固体化50Kwテレビ送信機の導入やSNG(通信衛星を使用した番組素材収集システム)の系列30局への配備などを担当しました。その後、約10年間は開発部門でBSや地上波の放送技術の開発を、さらにその後の10年間は現場を離れて技術部門の責任者として、また放送業界代表としてデジタル化に係る総務省や産業界との交渉などを務めました。

私は一貫して“電波関係”の仕事が長く、放送局が扱う電波はVHFからUHF、SHFと多岐にわたり無線機器の数も1,000局近くあり、これらを管理する部署にいたため第一級無線技術士の資格も必要となりました。40代の頃より日本民間放送連盟(民放連)の委員として放送・電波に係る諸課題に取り組んできました。データ放送の普及や緊急地震速報の高速化の導入、そして700MHz帯の周波数移行(放送で使用している同帯域を携帯電話などへの利用を可能とするための周波数移行)など電波行政にも参画しました。こうした事績が認められて2014年に「第55回電気通信協会賞」を、2017年には「第62回前島密賞」をいただく事ができました。



SNG 主局7m Φアンテナ

### 前島密賞

通信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため、昭和30年(1955年)に設けられ、情報通信及び放送の進歩発展に著しい功績のあった方々に贈呈される賞



SNG 中継車

# マルチメディア教育工学研究室

## ～ICTを活用し学習を支援～

システムデザイン工学部 英語系列  
 宍戸 真 教授



教育工学の理論の一つに、インストラクショナル・デザインというのがあります。無理をせず効果的に、効率よく学習するにはどのようにすればよいか、カリキュラム作り、教授方法、学習方略を考えるのに役立つものです。私の研究はこの考えに基づき、ICTを活用して楽しく、効率よく、効果的に学ぶ英語学習用教材の開発とその効果を検証することを中心としています。

研究を始めた当初は第二言語習得論のインプット理論に基づき、英語学習に役立つ教材作成に携わってきました。紙面の教科書に音声カセットテープや映像のビデオを付属しているものでした。2000年代に入りコンピュータやインターネットの発達に伴い、CALL (Computer Assisted Language Learning) と呼ばれるものへと研究が発展し、2006年には日本初といえるCALL用コースウェアEffective Readingを英国のソフトウェア開発会社、日本の出版社と共同で開発しました。この教材の効果を測定するため視線計測装置を利用し、英語習熟度別に学習者の視線動向の特徴を解析する研究では科研費の助成を受けることもできました。

その後のデジタル機器の進化は目覚ましく、コンピュータだけでなくタブレットやスマートフォンを利用した学習活動も可能となっています。数年前に

はBeeDanceというiPadを活用したLMS(Learning Management System)を情報環境学部に導入していただき、教師と学生が双方向で通信し画面を共有できる画期的な英語講義の展開にも取り組んでいます。また最新の研究では、NTTラーニングシステムズ株式会社と共同で音声認識システムと人工知能を組み合わせた英会話練習の教材作成に取り組んでおり、効果を測定するなどの活動を行っています。

研究室に所属する学生は英語学習だけに特化することなく、さまざまな教科の学習において効率よく、効果的に学べるデジタル教材の作成に取り組んでいます。ゲーム開発エンジンのUnityとKinectを組み合わせた小学生向けの英単語学習ゲーム、iBooks Authorによるデジタル教科書、VRやアニメーションを使った動画付きデジタル絵本などICTを活用し、さまざまな学習教材の作成とその効果を検証する研究に励んでいます。



研究室内の学生と

## 「電大ガールズ」D-girls

今回は電大ガールズのおすすめ科目を紹介したいと思います。

### ①技術者倫理

ある問題が起きた時にどんな行動ができるか、どのような行動をとれば問題が起きないかなどについて、話し合いを通じて学ぶ科目です。題材で映画「猿の惑星」が使われており、楽しんで学べます。他学科の学生さんと一緒に受ける授業なので、色々な情報を得ることができます。

### ②ワークショップ

学科によって内容は異なりますが、自分たちでものづくりを行います。実際に体験することで多くの事を学ぶことのできる一押しの科目です。機械工学科先端機械コース(2017年度以降の入学生は先端機械工学科)では、ダンボールを使って「重量挙げロボット」を製作します。

電大ガールズのブログで他のおすすめ科目も紹介されているので、ぜひご覧ください。

電大ガールズのブログ▶ <https://ameblo.jp/tdu-girls/>



工学部機械工学科先端機械コース3年 畑中 美紀

# 未来科学部 イブニングセミナー 「宇宙と建設」清水建設(株)技術研究所 金森洋史氏

未来科学部 建築学科  
笹谷 真通 准教授



金森洋史氏

未来科学部では学生に広く最先端の世界の潮流に触れる機会を提供する目的で、毎年足立区生涯学習センターと連携して、世界を舞台に建築関連分野で活躍されている方々をお招きしてお話を伺う、イブニングセミナーと呼ばれる公開講演会を行っています。

今回のイブニングセミナーは、11月24日に足立区生涯学習センター講堂(足立区千住)にて「宇宙と建設」と題して、清水建設(株)技術研究所 宇宙・ロボットグループの金森洋史氏をお招きし、開催しました。当日は一般の方と本学の学生と教員を合わせて、200名収容の会場がほぼ満員となりました。

講演の中で金森氏は大きく「これまでの宇宙開発」、「現状の宇宙開発」、「これからの宇宙開発」と3つのテーマに分けてお話をされました。まず「これまでの宇宙開発」については、日本や他の諸外国の無人・有人による宇宙・月面探査やロケット開発の歴史的背景を時系列に説明してくださり、その後は現状および将来の宇宙開発について、宇宙ホテルや

月面基地構想についても分かりやすく解説されました。

金森氏の講演を通して、これまで同氏が携わった宇宙開発プロジェクト、NASAやJAXAで行ったさまざまな研究をメインに、宇宙開発の全体像と世界的な流れでもある月の探査や開発の経緯、今後の計画などの一端を垣間見ることができ、またその中で重要な役割を担うであろう建設会社の取組みを知る良い機会となりました。

会場からの質問の中には、「宇宙開発技術を軍事目的に利用しないでほしい!」、「将来宇宙に旅行に行ける日はいつ頃来るのか?」、「宇宙エレベーターができる技術は将来来るのか?」といった意見があり、金森氏は将来の動向にも触れながら、それぞれ丁寧にコメントをされていました。

講演会後の懇親会では、金森氏を囲んで宇宙に興味を持つ多くの一般の方や学生が活発な議論を交わし、盛況のまま会を終えました。



未来科学部長 積田洋教授による挨拶



満員の会場

## 技術革新者の名言とエピソード vol.5

### “木版印刷技術の成立”

#### 古代中国四大発明

インドから仏教が伝来した中国では、7世紀に仏像印を織布に押しつけて千体仏を作る方法が伝来し、墨を塗った仏像に紙を乗せて摺る擦仏という方法で木版印刷が始まりました。

一度に多くの情報を伝達できるため8世紀中頃には儒教の経典、菩薩像など宗教や学術、芸術の普及に大きく貢献。特に宋代には科挙受験のために儒教の経典や参考書の需要が高まりました。

また暦や教科書、読み物など多種多様な書物が印刷されるようになり、明時代には多色印刷も行われ、その技術は世界に拡散、後に活字を用いる活版印刷が誕生していきました。

#### (エピソード)

世界最古の印刷物は法隆寺の『百万塔陀羅尼』(770年)とされています。百万塔内にある陀羅尼(呪文)とは、藤原仲麻呂の乱(惠美押勝の乱)の天皇による平定祈願が込められたもの。乱平定後に法隆寺(現存約300基)をはじめとする十大寺に多くの小塔に巻き納めて奉納されたものです。





大久保校長より中学校・高等学校の現況説明

## 第24回 卒業生招待会

～同窓生、恩師との再会～

11月11日に、第24回卒業生招待会を開催しました。中学校・高等学校の全卒業生を対象に、学校の近況を知っていただくとともに、懐かしい同級生・同窓生や恩師と旧交を温めていただくための機会として隔年で開催しています。今回は会場を東京小金井キャンパスからJR三鷹駅近くの三鷹産業プラザへ移して実施しました。

はじめに学園を代表して渡辺貞綱学園理事よりご挨拶をいただき、東京千住キャンパスの開発がひと段落した大学の現況と本校の前身となった東京電機工業学校についてお話がありました。続いて大久保靖校長より中学校・高等学校の現況についてスライドを使って説明させていただきました。川村登志一中高同窓会長による乾杯の後、懇談の場では一昨年度から始まった課題探求学習 TDU 4D-Lab の取り組みやオルセースクールミュージアムの動画が上映されました。和やか

なうちに時間は経過し、高久廣毅元校長の中締めをへて会はフィナーレを迎えました。予定では次回の開催は平成31年となりますが、この年は高等学校創立80周年の節目に当たります。例年にもまして多くの同窓生の皆さんにご参加いただけるような会とすべく、今後検討を進める予定です。

現在の高校は男女共学の中高一貫校となり、神田や小石川にあった時代とは少々雰囲気も変わってはいるものの、学校の持つ本質的な校風やスクールカラーには大きな違いはないはずです。会の最後に参加者一同で校歌を斉唱しましたが、男女共学を機に作られた現校歌とともに、小石川で歌われていた二世代前の校歌もOB諸氏からのリクエストで一緒に歌われました。二つの校歌が学校の伝統と革新を象徴していて大変印象的でした。



歓談する卒業生



上映された動画を見る参加者



本学のシーズ紹介



野菜たっぷりのメニューは学生にも大好評

## 第5回 産・学・公・金 交流会 ～足立区、足立成和信用金庫、 東京電機大学が主催～

研究推進社会連携センター  
(産官学交流センター)

11月9日に東京千住キャンパスにて、足立区、足立成和信用金庫、本学の主催で「第5回 産・学・公・金 交流会」を開催しました。産官学交流センターでは、複数の金融機関との連携に取り組んでいますが、今回は東京千住キャンパスの所在地である足立区の信用金庫と連携した交流会となり73名の方にご参加いただきました。

本年度5回目となる今回の交流会では、「技術課題解決のために大学のシーズと補助金を活用しよう！」をキャッチフレーズに、ものづくりセンターの見学、本学の産学連携コーディネーターによる東京電機大学のシーズ紹介(4件)、関東経済産業局、東京都中小企業振興公社、足立区による各種助成事業の紹介、実際に本学と連携し、かつ国の補助金を活用している企業による講演「補助金制度活用のポイントと技術開発への取り組み」、名刺交換会を実施しました。

ご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。



足立区による各種助成事業の紹介

## 野菜からかむカムランチ キャンペーン

～販売開始1時間で完売～

東京千住キャンパス事務部

11月17日に東京千住キャンパスの学生食堂にて、12回目となる「野菜からかむカムランチキャンペーン」を開催しました。今回のメニューは、たっぷり野菜とチキンのオープン焼き、バターライス、ブロッコリーのツナサラダ、いんげんと豆腐のあっさりスープ、グレープクラッシュゼリーのセット(500円)で、「いい菌」にちなんで118食を販売しました。

ワンコインで野菜たっぷり(1食で278グラム)の健康的なメニューを食べられるということで、学内外から多くの方が注文されていました。今回も大人気を博し、販売開始1時間後には完売となりました。

2号館1階にて「健康フェスタ」も同時に開催され、日本歯科大学東京短期大学の学生さんが本学を訪れ、かくれ肥満&かくれ糖尿病チェック、かむカムチェック&デンタルフロス体験なども実施しました。意外な結果だったのか、驚く学生の姿も見られました。

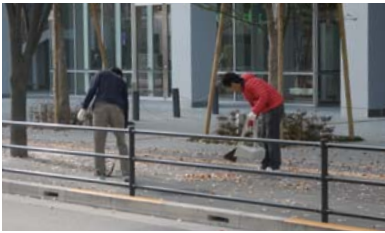
このイベントは回を重ねるごとに、少しずつ定着してきているようです。今後も継続して行い、多くの方に健康でより良い日常生活を送っていただけるよう働きかけていきたいと思っております。



2号館1階で開催された健康フェスタ

東京千住キャンパス

## 第12回ゴミ拾い大作戦



11月29日に、クリーンプロジェクトの一環としてボランティアサークル「らいふ」が中心となり「第12回ゴミ拾い大作戦」を開催しました。参加者は地域の皆さんへ感謝の気持ちを伝え、気持ちよく学生生活を送ることを目的とし、約20分間キャンパス周辺の清掃活動を行いました。

当日は168名が参加し、電大カラーのブルーのTシャツ等を身に付け目立った活動を行った学生に、パフォーマンス賞として景品が贈呈され、盛況のうちに終了しました。次回も多くの方にご参加いただけることを期待しています。

(東京千住キャンパス事務局 高山)

千葉ニュータウンキャンパス

## 第2回大学院情報環境学研究科主催 アイデアコンテスト



11月18日に、書類審査を通過した7グループによるプレゼンテーションが行われました。本コンテストの特徴は、学生も他グループの審査にあたることですが、さらに今回からは上位3グループから最優秀賞を選ぶ審査を学生同席のもと公開審査で行いました。

審査員も緊張感を持って審査にあたり、昨年以上に盛り上がりました。

(情報環境学部事務局 石田)

埼玉鳩山キャンパス

## 国際野外の表現展2017-2018



12月3日より、「国際野外の表現展2017-2018」の作品が随所に展示・公開されています。テーマは「サイトスペシフィックアートと地域創造」で、国内外から16の作家が作品を出品し、本学の学生も3作品を出品しています。

この作品は2018年7月31日まで公開予定です。さまざまな魅力ある作品が展示されていますので、埼玉鳩山キャンパスにお越しの際には、是非芸術鑑賞をお楽しみください。(理工学部事務局 高木)

東京小金井キャンパス

## プログラミング教室



11月5日に、小学5・6年生を対象にプログラミング教室を開催しました。プログラミング教育は、2020年度以降の小中学校の学習指導要領において、小学校で必修化されました。

本校でのプログラミング教育は、中学開設以来続いています。今回は17名が参加し、簡単にプログラミングができるScratchというソフトを使って、その楽しさを体験していただきました。

(指導教員 山住)

## 東京神田キャンパス 神田小川町雪だるまフェア

雪が降ると冬を感じさせます。2018年1月20日と21日に、神田小川町雪だるまフェアが開催されます。

この催しでは80トンの雪を運び入れ、雪だるまやかまくら、雪のすべり台などが企画されており、スポーツ店の街・神田小川町で銀世界の魅力を存分に体験できるイベントとなっています。色々な冬の楽しみ方を見つけていきたいです。



(出版局 水越)

## 学園創立110周年記念 「東京電機大学 卒業生の活躍と企業紹介」刊行

学園創立110周年を記念して、卒業生の活躍する企業等を紹介する冊子を協賛をいただいで作成しました。企業紹介と本学卒業生の在職紹介等を含むリクルート情報等も掲載しています。就職年次生を中心に広く配布しています。

なお、制作等は株式会社オーム社の協力を得て行いました。

大学のウェブサイトにも掲載していますので是非ご覧ください。

<https://www.dendai.ac.jp/about/gakuen/publicity/download/>



## 奨学金「エンジニアのたまご」一般入試(前期)受験生対象

本学では、社会に貢献できる技術者を目指す成績優秀な新入生に対し、経済支援を行うことを目的とした「エンジニアのたまご」奨学金を実施します。

奨学生候補者条件は以下の通りです。

- 一般入試(前期)を受験し、本学への入学を強く希望する者
- 主たる家計支持者(父母のうち収入の多い者)の収入・所得金額が下記いずれかに該当すること

・給与所得者:平成28年分源泉徴収票の支払い金額が841万円以下

・給与所得者以外:平成28年分確定申告書の所得金額の合計金額が355万円以下

- 一般入試(前期)の3教科合計得点率が以下の者

・75%以上:50万円支給

・70%以上75%未満:25万円支給

※自宅外通学者のみ上記金額に加えて10万円支給

- 申請期間

2018年1月5日(金)～1月22日(月)消印有効

[窓口受付 1月23日(火)のみ]

詳しくはこちらからご覧ください。

<https://www.dendai.ac.jp/news/2017/20171201-02.html>



## 国際交流スカイプ会議を開催

11月13日に情報環境学部にて、海外協定校の一つであるインドネシアのヌサンタラ・マルチメディア大学(UMN)とスカイプを利用して、国際交流を行いました。

本学からは国際交流に興味のある学生数名が集まり、UMNでは昨年度情報環境学部の短期プログラムを通して日本に4か月間滞在していた学生2名、国費で大学院に在籍していた卒業生1名を含む日本に関心のある学生10名程が参加しました。それぞれの大学、自国の文化等の紹介を行いました。

スカイプでの交流はタイムリーで学生たちにとって身近な国際交流の手段として有用です。今後もこのような企画を行いますので、是非ご参加ください。



## 東京千住キャンパス 園児・小学生向け プログラミング体験教室開催

12月6日と8日に東京千住キャンパスにて、5号館併設の学習支援施設キッズ大陸の児童を招き、プログラミング教室を開催しました。小学生と年中長クラスの子供たちが、両日で約30名参加しました。

プログラミング教室前にはものづくりセンターやルーフガーデンなど学内を見学し、特にセキュリティゲートには興味津々の様子でした。体験教室の講師は、情報通信工学科長谷川誠教授と研究室の学生です。パソコンで「Scratch(スクラッチ)」というシステムを使い、上下左右、回転などの動作を組み合わせ、画面上のキャラクターを動かすプログラミングに子供たちは大盛り上がり。自分が作ったキャラクターを見せ合うなど笑いの絶えない体験教室となりました。

最後にキャンパスプラザのイルミネーションを見学し、嬉しそうに帰って行きました。



楽しそうにパソコンに触れる子供たち

### 受賞 情報

## 顕著な活躍をした電大人を紹介します。



### 硬式野球部

平成29年 東京新大学野球連盟四部秋季リーグ戦  
**優勝**  
平成29年11月18日



### 原 千明さん(修士1年)

理工学研究科建築・都市環境学専攻  
(地盤工学研究室)  
2017年 日本地震工学会大会  
**優秀発表賞**  
平成29年11月13日



### 藤田 聡教授

工学部機械工学科  
日本機械学会 **会員功労者表彰**  
日本機械学会 **事業功労賞(出版物)**  
平成29年11月17日



### 齋藤 匠さん(修士2年)

工学研究科電気電子工学専攻電子光情報コース  
(集積回路研究室)  
IEEE CEDA ALL Japan Joint Chapter Design Gaia  
**Best Poster Award 2017**  
平成29年11月8日



### 佐藤 太一教授

工学部先端機械工学科  
日本機械学会 **会員功労者表彰**  
平成29年11月17日



### 小松 聡教授

工学部電子システム工学科  
IEEE International Test Conference  
**2016 JETTA-TTTC Best Paper Award**  
平成29年11月2日



### 吉田 亮名誉教授

(元 工学部教授)  
蝦名 航さん  
(平成28年3月 工学研究科機械工学専攻修了)  
日本燃焼学会 **論文賞**  
平成29年11月15日



### 加藤 優一さん(修士2年)

理工学研究科電子・機械工学専攻  
(電子計測研究室)  
電気学会 平成28年電子・情報・システム部門大会  
**奨励賞**  
平成29年9月7日

(受賞日順)

## 後援会だより

## 父母懇談会 全日程が終了しました

9月23日から12月3日にわたり、地方10会場、キャンパス3会場(5回)において開催しました父母懇談会が終了しました。ご出席いただきましたご父母の皆様、誠にありがとうございました。

開催会場、出席人数は下表の通りです。



## 平成29年度 父母懇談会開催結果

## 地方会場

| 日程         | 開催地 | 対象     | 出席組数 | 出席者数 | 会場ホテル            |
|------------|-----|--------|------|------|------------------|
| 10/1(日)    | 長野  | 全学部全学科 | 26組  | 42名  | ホテルメルパルク長野       |
| 10/9(月・祝)  | 高崎  |        | 49組  | 78名  | ホテルメトロポリタン高崎     |
| 10/15(日)   | 広島  |        | 6組   | 10名  | 広島ガーデンパレス        |
| 10/22(日)   | 博多  |        | 17組  | 28名  | ホテルセントリーザ博多      |
| 11/5(日)    | 盛岡  |        | 9組   | 14名  | ホテルメトロポリタン盛岡本館   |
| 11/12(日)   | 水戸  |        | 38組  | 57名  | 三の丸ホテル           |
| 11/19(日)   | 仙台  |        | 16組  | 24名  | ホテルJALシティ仙台      |
| 11/23(木・祝) | 宇都宮 |        | 64組  | 94名  | ホテルニューイタヤ        |
| 11/26(日)   | 金沢  |        | 11組  | 19名  | ホテル金沢            |
| 12/3(日)    | 浜松  |        | 34組  | 54名  | オークラアクティシティホテル浜松 |
| 合計         |     |        | 270組 | 420名 |                  |

## キャンパス会場

| 日程        | 開催地      | 対象              | 出席組数   | 出席者数   |
|-----------|----------|-----------------|--------|--------|
| 9/23(土・祝) | 東京千住     | 未来科学部           | 260組   | 366名   |
|           |          | システムデザイン工学部     | 60組    | 93名    |
| 9/30(土)   | 埼玉鳩山     | 理工学部            | 381組   | 577名   |
| 10/21(土)  | 千葉ニュータウン | 情報環境学部          | 90組    | 122名   |
| 10/28(土)  | 東京千住     | 工学部・工学部第二部3・4年生 | 230組   | 329名   |
| 11/25(土)  | 東京千住     | 工学部・工学部第二部1・2年生 | 284組   | 424名   |
| 合計        |          |                 | 1,305組 | 1,911名 |

## 校友会だより

## 関西支部総会を開催

11月18日にANAクラウンプラザホテル大阪(大阪市)にて、京都・滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山の6府県支部会員が参加の下、3年ぶりに関西支部総会を開催しました。

当日は31名の方が参加し、安田浩学長をお招きして「東京電機大学の現状と今後の展開」について講演をいただきました。懇親会は、出席者全員から、近況報告が行われ、盛況のうちに終了しました。

当日の様子はこちら

<http://www.tdu-koyu.com/shibu/kansai/index.html>



## 出版局 新刊のご案内

## &lt;合格マスター 電験三種 平成30年度版&gt;

東京電機大学電験研究会 編



毎年刊行している電験三種シリーズをご紹介します!

来年9月の試験に向け、この本が合格の一助となれば幸いです。

- 電験三種 理論 A5判 336頁 2,916円
- 電験三種 電力 A5判 288頁 2,700円
- 電験三種 機械 A5判 352頁 3,024円
- 電験三種 法規 A5判 264頁 2,484円

テーマの重要事項と例題を見開き2ページで解説。

平成29年度の試験問題と答を掲載。

学生だより

## 埼玉鳩山キャンパス 広報誌『Cat's-eye』

Cat's-eye 編集局  
理工学部 情報システムデザイン学系 2年  
井上 拓哉

私たちは、埼玉鳩山キャンパスにて広報誌『Cat's-eye』（年3回発行・埼玉鳩山キャンパスで配布）の発行を行っている有志団体です。紙面の構成や編集は全て学生が担当し、教授へのインタビューやイベントの特集を組むこともあります。他にも埼玉鳩山キャンパスにて開催される「国際野外の表現展」の運営と図録の作成も担当しています。当イベントは国内外さまざまなアーティストの方に参加いただいてキャンパスをアート表現の場として活用するものです。今年も作品を鑑賞するために多くの方が来校されました。

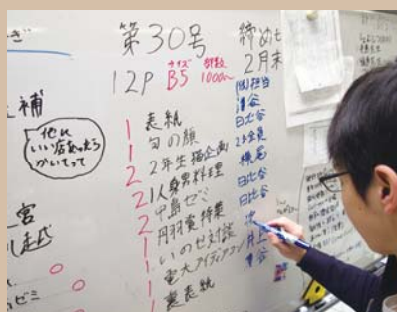
そして10月からは新たな試みとして、学生によるニュースサイト『TDU Plus』を公開しています。『Cat's-eye』のアーカイブや最新のニュースなど、紙面だけでなくオンラインでも記事を掲載しています。

今後は東京千住キャンパスの新聞委員会と協力し、より幅広い情報を学外へ発信していきたいと考えています。

TDU Plus  
URL: <http://plus.rd.dendai.ac.jp/>



広報誌『Cat's-eye』



編集会議

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

この先に花野あれかし黄泉の途  
空広く秋蝶の原風のまま  
地下鉄のホームの壁の花野かな

七美男(松田七美男)  
かをる(藤田かをる)  
廻子(大園成夫)

時代を越えて—東京電機大学の軌跡

## 躍進・興隆期(1) | Vol.05 |

〈大正6年～昭和2年〉

法人組織になって全職員が『われわれの電機学校』ということを強く意識するようになり、学園には明朗闊達な気分が溢れ、校舎を増築、南側隣地の建物を買収した(大正7年)。

しかし大正7年8月、西隣の錦輝館(活動写真館)からの出火により全校舎を焼失。ただちに全職員一丸となって復旧にあたり、わずか2日間の休校で授業を再開。一方、校舎の再築は、理事・幹部職員の迅速な対応と石井組の協力により、総4階建(木造1,036坪)をわずか55日間のスピードで仕上げ、10月の新学期から新校舎で授業を開始した。これは当時の建築界の新記録であった。



鉄筋校舎1階の実験室

大正8年、東側隣地を買収、同11年これに本校最初の鉄筋校舎(4階建)を建築。これは1階全部を電気実験室とし、その設計には後の理事長服部碩彦があたり、実験指導に際して使い勝手の良い多くの新機軸が考案、採用された。この校舎の道路に面した壁に陳列窓を設け、電気知識の普及の狙いで、電気商品やラジオやトーキーの原理などのやさしい解説を実験装置と共に陳列した。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」  
(一部読みやすく修正しています)

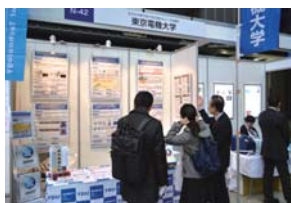
# Information

## 彩の国ビジネスアリーナ2018に 出展

研究推進社会連携センター

彩の国ビジネスアリーナ2018は、中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上等を目的とし、広域的な企業間ネットワーク形成による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。本学も出展しますので、お時間があれば是非、足をお運びください。

|       |  |
|-------|--|
| 日 時   | 平成30年1月24日(水)<br>10:00~18:00<br>平成30年1月25日(木)<br>10:00~17:00                         |
| 場 所   | さいたまスーパーアリーナ<br>JRさいたま新都心駅西口徒歩1分   |
| 内 容   | <技術・製品展示会><br>展示ブースにおいて、来場者や他の参加者との情報交換・商談等<br><講演会><br>最新の技術動向や企業経営に資するテーマのセミナー・講演会 |
| 入 場   | 無料   |
| 特設サイト | <a href="http://bizmatch.saitama-j.or.jp/">http://bizmatch.saitama-j.or.jp/</a>      |
| お問合せ  | 研究推進社会連携センター<br>(産官学交流センター)<br>Tel. 03-5284-5225                                     |



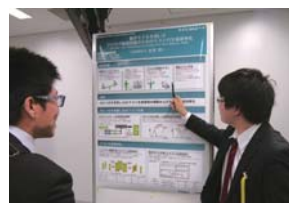
## 平成29年度 博士・修士論文および 研究成果発表会開催

東京千住キャンパス事務部

本学大学院先端科学技術研究科・工学研究科・未来科学研究科の大学院生による研究成果をパネルで展示・説明するポスターセッション形式の合同発表会を開催します。

また発表に先立ち、三菱電機株式会社 開発本部 役員技監の田中健一氏による講演会も開催します。

|      |  |
|------|--|
| 日 時  | 平成30年2月9日(金)<br>13:00~17:00(12:30受付開始)   |
| 場 所  | 東京千住キャンパス<br>北千住駅東口(電大口)徒歩1分   |
| 内 容  | 13:00~14:20<br>講演会(会場:1号館2階丹羽ホール/定員500名(先着順))<br>演題<br>知能化技術が産み出す生産システムのイノベーション<br>講師 田中 健一 氏<br>三菱電機(株)開発本部 役員技監<br>14:30~17:00<br>博士・修士論文および研究成果発表会(会場:2号館各教室) |
| 入 場  | 無料   |
| お問合せ | 東京千住キャンパス事務部<br>(教務担当)<br>Tel.03-5284-5333   |



### 編集後記

年始の初詣、皆さんはどこにお参りされますか。

東京の合格祈願で有名な関東三大天神といえば、文京区の「湯島天神」、江東区の「亀戸天神社」、国立市の「谷保天満宮」。3つとも学問の神様として有名な菅原道真公が祀られています。行かれたことのある方も多いのではないのでしょうか。

入試まであとわずか、受験生には体につけて頑張ってほしいですね。

# TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



大豆由来のインクを使用。この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。